

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11) 実用新案出願公開番号

実開平4-132517

(43) 公開日 平成4年(1992)12月8日

(51) Int.Cl. ^a	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 6 F 1/16				
	3/147	Y 9188-5B		
G 0 9 F 9/00	3 1 2	6447-5G		
		7927-5B	G 0 6 F 1/00	3 1 3 F

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21) 出願番号 実開平3-45075
 (22) 出願日 平成3年(1991)5月20日

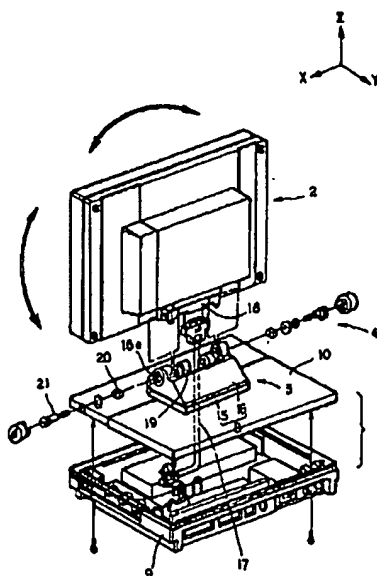
(71) 出願人 000210864
 中央電子株式会社
 東京都八王子市元本郷町1丁目9番9号
 (72) 考案者 井上 幸司
 東京都八王子市元本郷町1丁目9番9号
 中央電子株式会社内
 (74) 代理人 弁理士 増田 竹夫

(54) 【考案の名称】 ディスプレイ回動装置

(57) 【要約】

【目的】 使用者の好みに合わせて上下・左右何れの方向にも画面の向きを変えることができるとともに、故障等の際に基台とディスプレイ本体とを別々に分割させて一方のみを持出して修理等を行うことができるディスプレイ回動装置を提供する。

【構成】 チルト機構4に設けた基台1側の軸受部材19からそこに螺着されていた固定軸21を取外してディスプレイ本体2側の固定アーム18から引抜くことにより、基台1とディスプレイ本体2とが簡単に分割できる。



(2)

実開平4-132517

1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 基台上部に対してディスプレイ本体を上下方向及び左右方向に回転自在に支持するチルト機構及びパン機構を備えたディスプレイ回転装置であって、前記パン機構が、前記基台上に回転自在に取付けた円環状の滑動部材と、この滑動部材に対し一体に取付けられた回転受座とを備えるとともに、これら一体に組付けられた滑動部材と回転受座の中央部に基台とディスプレイ本体との間を接続するケーブルが挿通する貫通孔を有し、前記チルト機構が、前記ディスプレイ本体側下部に設けた固定アームと、前記基台側の回転受座に一体に取付けた軸受部材と、前記固定アームの嵌合孔に一方側の半分を嵌合させるとともに他方側半分が軸受部材の嵌合溝に嵌合させる角形ピンと、この角形ピンの貫通孔に挿入させて先端部を軸受部材の嵌合溝内のネジ孔に螺合させたディスプレイ本体側及び基台側から着脱自在の固定軸とを備えたことを特徴とするディスプレイ回転装置。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係るディスプレイ回転装置を示す分解斜視図である。

20

2

【図2】 この考案に係るパン機構を示す分解斜視図である。

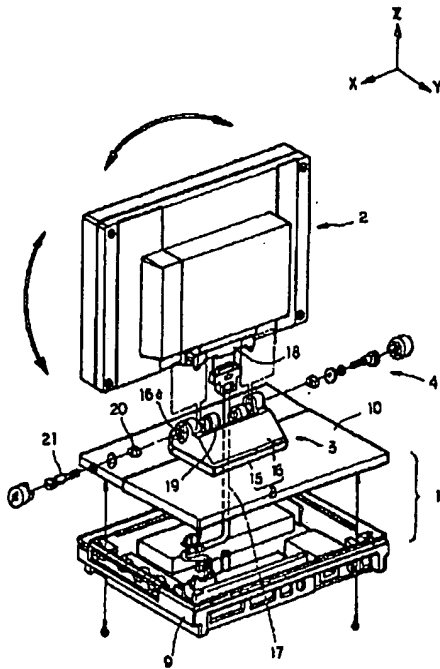
【図3】 この考案に係るチルト機構を示す分解斜視図である。

【図4】 図3に係るチルト機構を示す平面図である。

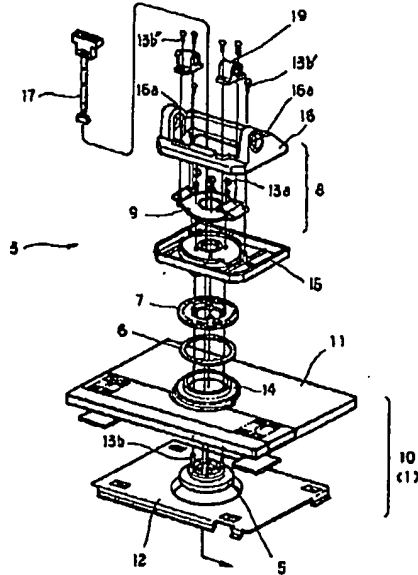
【符号の説明】

- 1 基台
- 2 ディスプレイ本体
- 3 パン機構
- 4 チルト機構
- 5 滑動部材
- 8 回転受座
- 17 ケーブル
- 18 固定アーム
- 18 a 嵌合孔
- 19 軸受部材
- 19 b 嵌合溝
- 20 角形ピン
- 20 a 貫通孔
- 21 固定軸

【図1】



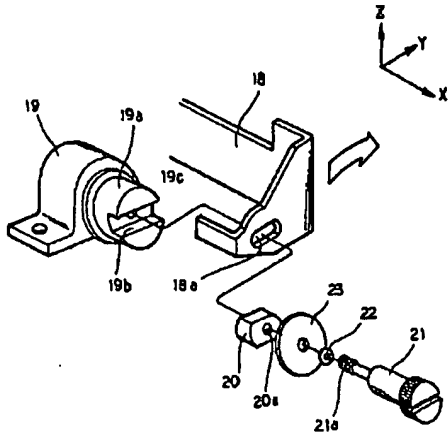
【図2】



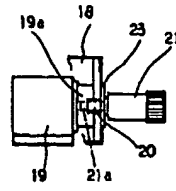
(3)

実開平4-132517

【図3】



【図4】



BEST AVAILABLE COPY